多くを教えていただき、ありがとうございました

上田正和

森谷和馬先生との出会いは、私が弁護士３年めの頃に医療事故研究会に参加させていただいた時でした。私が医療事件に初めて取り組むようになった頃でしたが、それ以降、医療事故研究会の例会や合宿、さらには法律相談や証拠保全や調査や示談交渉などを共同して受任する機会も多くあり、その都度、さまざまなことを教えていただき、暖かいご指導をいただきました。遠方での証拠保全や協力医との面談など、懐かしく思い出されます。若手の会員であった私の拙い書面や交渉についても、できるだけ形式や内容を尊重していただき、裁判所や相手方に提出する書面についての修正も最小限にとどめられたのは森谷先生のお優しさであったことと思います。責任と経験を積んでもらおうという配慮であったのかもしれません。穏やかなお人柄は、若手会員にとってはとても近づきやすいものでした。それに甘えてしまうことが多かったと思います。

その後も、何か分からないことや悩むことがあると、私は森谷先生にお電話をしてアドバイスをいただくことが少なくありませんでした。現在、私は医療事故研究会の会員としてはシニアに位置づけられ、若い会員にアドバイスを行う立場になりましたが、森谷先生の水準には到底達していませんし、若い会員に対して暖かくていねいな助言を行えているわけでもありません。ただ、森谷先生のことを思い出しながら、森谷先生が中心になって築かれた医療事故研究会の実績や雰囲気を若い会員に伝えていけるように努めることで、森谷先生から受けたご恩に報いたいと思います。

森谷先生、これまで多くのことを教えていただき、ありがとうございました。どうぞ安らかにお休みください。